



セブ島通信
セブ日本人会報

2021年1月号
(隔月発行)
発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg,
ML Quezon St. Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL: (032) 343-8066
FAX: (032) 343-7663
発行人: 松田和人
編集人: セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

新年のご挨拶



謹んで新春をお祝い申し上げます。

未だ昨年2020年から始まった厳しい時期が続いております。セブ島通信を購読いただいている皆様も例年とは違う新年を迎えになったと思います。「お祝い」や「おめでとう」が言えないという言葉が適切なのかと考えさせられました。しかし、厳しい中でも新年を迎えることができたことは、ありがたいことだと痛感しました。

昨年、記念すべき2020年に会長という職を預かり、セブ日本人会の意義を常に考えながら、いろいろな活動をやっていく所存でしたが、ほとんどの活動ができないう1年となりました。日本人会の事務所も約半年閉めました。当たり前のようには月行っていた対面の理事会もオンラインでしか続けられない状況です。毎回、そろそろ集まることができるかというのを協議していますが、結局理事同士で集まることもできておりません。

セブ日本人会会長 松田和人

この場を借りて再度、2020年の日本人会活動を振り返ってみました。

2月までは通常通りの活動ができておりましたが、3月から事態は急変しました。そこから帰国ご希望者の臨時便支援をセブの有志の方々と続けました。約2500名の方々が帰国することができました。経験した今であればロックダウンとはこんなもの、臨時便はこのよう手順で進めていくとわかりますが、当時は生まれた体験したことのない状況でしたので戸惑ったことも多くありました。しかし、厳しい状況の中で協力いただいた方々の気持ちに触れたこと、そこから関係が深くなったことは貴重な財産となりました。このことがきっかけで、後になって「あの時はありがたいございました」、「日本人会に入りまして」、「日本人会ががんばれ」などという言葉がいたたくと改めて貢献できてよかったと思えます。臨時便の際、ホットラインを一時的に開設し、日本人会会員の方への安否確認や会員のみでなく日本人からの相談受付も実施しました。担当いただいた方には感謝しかありません。また、このセブ島通信、メール、Facebookを使って情報

発信を続けています。記事でも数回取り上げられておりますオンライン懇親会も継続中です。参加者は多くはありませんが、お互いの現状や情報交換をしております。この中でもそろそろ対面の懇親会のご希望があがっておりますので、いつか開催できればと考えております。

セブ観音のご寄付についても呼びかけさせていただき、多くの方に協力いただき感謝しております。まずセキュリティ強化からはじめていきます。追って状況の報告もさせていただきます。追って状況の報告もさせていただきます。(まだご寄付は継続中です。)

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

今年、夏には、昨年から延期になった東京オリンピックの開催が予定され、さらに昨年変わった菅内閣が一層改革に力を入れることよって、日本の社会も新たな形へと変貌する気配が感じられます。

セブ日本人会会員の皆様も、希望

わかるカード所持の徹底を促したいと考えます。そうすることによって助かる可能性があるのではないかと2020年に考えさせられました。

対面イベントは当面できませんが、オンライン懇親会を続けながら、年2回のオンライン健康相談は実施します。ぜひ、参加いただいてない方は、一度ご体験ください。

年末から日本では感染者が増えて大変な状況が続いています。ここセブでは今は落ち着いていますが、他国を見てみるといつ状況が急変するかわかりません。2020年を機に新しい時代が始まっています。セブ日本人会も、この時代どうあるべきかを前に進みながら実践してまいります。

本年も、セブ日本人会が会員様の皆様にとって少しでも何かのお役にたてる存在となるため、理事のメンバーと力を合わせてがんばる所存ですので、会員の皆様のご支援どうぞよろしく願いたします。

セブ日本人会 副会長 藤岡 頼光

新年あけましておめでとうございます。

去年はご承知の通り新型コロナウイルス発生し、これまで経験したことがない流行となりました。セブ島で生活している人々にとっても生活の形態や働き方を変えることになった人々が多かったと思います。

全ては3月12日の深夜、ドゥタルテ大統領の演説から始まりました。

新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。

今年は何としても明るい年になります。

まだいつになったら隔離措置が解除されるかわかりませんが、少しでも早いセブ島の復活を期待しています。

今年は何としても明るい年になります。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために強化されたコミュニケーション隔離措置すなわちECQが宣言されたのです。

現在はGCQとなり比較的緩やかな隔離措置に変わりましたが、未だに隔離措置は続いています。世界最長とも言われています。

セブ島では減ってきたとは言え新型コロナウイルスが撲滅された訳ではありません。セブに残っている方には感染予防に再度気を付けて頂きたいです。

イギリスで発生した70%感染力が強いと言われる、新型コロナウイルスの変異種の動向も気になります。夜明け前が一番暗いともいわれます。

日本人会 副会長 櫻井 絹恵

日本では全国で急激にコロナ感染者数が増え、東京首都圏では緊急事態宣言が発令されました。それでも昨年の緊急事態宣言時に比べると危機感が乏しく、東京駅での入出は普段よりやや少ない程度でした。命より経済優先という事でしょうが今後の感染拡大が心配になります。海外

「一年の計は元旦にあり」と言われます。今年一年で達成したい大きな皆さんに描いていただき、実現するためにスタートを切りましょう。

令和三年は丑年です。丑年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年とも言われています。

果につながらる道をコツコツ積み上げて頂きたいです。

新しい年が、セブ日本人会会員の皆さんにとって素晴らしい年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

強化地域対策が法律上出来ないという事ですが、人の移動を最小限に止めないと感染爆発が起きる可能性があります。

私達一人一人の意識が大切で、今は冬眠期間でエネルギーを蓄える時だと認識してマインドセットする事です。私はこの間、Intermittent fasting (断続的断食) で体調のリコンデーションと減量に取り組ん

補習校とコロナ

セブ日本人補習授業校 校長 蝶合 正明



2020年という年はセブの補習授業校にとっても、と

でいます。これまでの考えに囚われず、全てをリセットして生活環境も変える事にしました。これからはリモートで出来る事に取り組み協力する事にします。迷いは多かったです。人生の一筋の光となると信じています。皆様も御自愛下さい。御多幸と健康をお祈りします。

日本から参加している子供達もあり、補習校という小さな所帯だからこそこの絆の存在を感じています。オンライン教育は知識の習得という点に関してはセブの基幹産業の一つにもなりつつある英会話レッスンで既に証明されています。特に児童生徒にとっては大人の危惧などお構いなしに抵抗もなく馴染んでおり、代

新年のご挨拶

セブ日本人会 理事 安藤 尚子



令和3年、新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

1年前、中国・武漢で新型肺炎が確認されました。日本政府は、9月8日に、コロナのワクチン購入のために、6714億円の予備費を支出

替教育メソッドではなくて立派に機能し得るようです。もちろん人との直接の触れ合いという知識以上に重要な部分が抜け落ちていく点は今後の大きな課題になります。フィリピン政府はコロナワクチンの接種開始と対面授業の再開をリンクさせる方針のようですが、現状では具体的な時期は明示されていませんし、補習校としても子供達の安全第一のポリシーを堅持しますので、現状では2021年のどの時点での再開かの目処は立っていません。しかし、オンライン授業の経験は今後の補習校のあり方に大きな一石を投じることになる可能性を秘めています。補習校のあるマンガウエからは遠隔のため通学を断念していた子供達が、日本語での教育の機会を得ることも現実味を帯びて来ました。我々は否応なしにニューノーマルの時代に突入してしまいました。日本人児童の教育もその中で種々模索し、そこにこれまでの常識や型とは異なるいき方を見出していきます。

する家族、多くの休暇を楽しむ人で混雑する駅や空港が、今年はすっかり様変わりしてしまいました。年末の新幹線(下り)の乗車率が例年は150%を超えるに對し、今年は駅のホームも閑散としていますとニュースが伝えました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、国や自治体移動の自粛を呼びかけ、多くの国民が意に反して予定をあきらめざるを得なかったのは悲しいことです。田舎に住む親から「今年は帰って来なくていいよ」と言われたと言う友人も何人かいました。感染拡大が広がる都市に住む人にとって、田舎への帰省は、悲しい事にコロナウイルスを持ち帰る感染源とされるようです。

新年のご挨拶

セブ日本人会 企画担当理事 荒木 寛



新年明けましておめでとう御座います。新型コロナウイルス

ウィルスが今までの世界の在り方を大きく変えて行く中で、新年を迎えることになりました。セブ日本人会会員の皆さまも多かれ少なかれ影響を受けていると思います。今年も、昨年が続いてコロナとの闘いが続く一年になると思えますが、どうぞご自身と家族をまもり、健やかな日々をお過ごしください。私と私の家族は昨年6月に、諸事情により日本に一時帰国することに

お正月には実家に帰省できず、家族の死に目にも会えないという状況です。子供や孫に会いたくない親はいません。ましてやそれが遠く離れて暮らす子に会う、年に数回しか無い機会だとしたらなおさらです。高齢な親にとっては不憫な事です。現在の「新しい生活様式」で多くの人の生活が激変しました。このまま進めば、人と人と会うことができず、部屋に閉じこもりテレビから流れてくる情報だけを頼りに生きていくことになりかねないです。そうなれば、情報を管理できる者がすべての人を管理・支配する構造が完成します。今こそ、テレビから流れる情報に振り回されるとこなく、コロナ騒動とは何なのか、冷静に考え行動することが求められています。

みで一年を始めましたが、いきなり
のロックダウンで結局はオンライン
懇親会ばかりを開催する一年で終
わってしまいました。その点では皆
さまをがっかりさせてしまったかも
しれない事を反省しています。今年
も当面は直接皆さまとお会いするイ

ベントは開けそうにもありません
が、何か新しい取り組みをして行き
たいと思いますので、是非皆さまか
らもお知恵を拝借いただければと思
います。
本年も何卒、よろしくお願い申し
上げます。

日本でのリスタート



新年明けまし
ておめでとうご
ざいます。昨年
は新型コロナウイルス

セブ日本人会 理事 櫻井 哲也

ウィルスの感染拡大に伴い、大変な
年となってしまいました。今年も
セブ日本人会会員の皆様にとって良
い一年になることをお祈りしていま
す。
昨年は、新型コロナウイルスの影
響を受けて大きく生活が様変わりし
てしまった方も多かったと思いま
す。特に観光業は海外からの観光客
がゼロとなってしまい、甚大な被害
を受けました。私もその中の一人で、
日本からの観光客が減り、しまいに
はゼロとなりセブで生活していくこ
とが困難になりました。ロックダウ
ンが開始された後も、しばらくはセ
ブに残っていました。限界をむか
えて8月に家族を残し単身で日本に
帰国しました。日本では今までは
全く違う職種の仕事でしたが、働
きたくても働けないセブより恵まれ
た環境でした。

後の見通しも立たない状況で分か
れて生活していくには不安要素が多
かった為、家族も日本に呼び寄せ
て生活することにしました。新型コ
ロナウィルスの感染拡大が始まって
から、最悪は、最悪はと考えていた最
悪のケースがずっと続いてきまし
た。今後の生活もどうなるのか全く
見当がつかない状況ですが、今は目
前の問題を一つずつクリアしてい
きたいと思っています。今年はとにか
くポジティブ思考でこんな状況だか
らこそこんな状況を楽しみたいと思
います。
本年もどうぞ宜しくお願い致しま
す。

当初は、家族と別れてしばらく生
活していく予定でした。しかし、今

セブ島で日本人雇用を 守り抜く



謹んで新春の
祝詞を申し上げます。

昨年とは格別なご高配を賜り厚く御
礼申し上げます。

セブ日本人会 理事 早川 諒

状況が続いていますが、今後状況が
落ち着き次第、必ずセブに戻ります。

現在は、まだオンライン上でしか
セブの皆様とコミュニケーションを
取る術がありませんが、微力ながら
個人としては遠方からできる最大限
のサポートをさせて頂きたいという
想いと、現地法人としては引き続き、
セブ島に貢献すべく邁進していきま
いと思っています。

日本人会会員の皆様も、まずは第
一にご自身とご家族の健康にご留意
頂き、お過ごし下さい。
2021年が私たち日本人にとつ
て、そしてセブ島にとって、光あふ
れる1年になると信じて目の前の壁
を一つ一つ、乗り越えていきましょ
う。
本年も何卒、宜しくお願い申し上
げます。

私自身、3月の時点で日本におり、
セブへの帰国予定だった便が欠航と
なり、その後一度としてセブ島に戻
ることが出来ていません。セブの自
宅住居の家賃だけを払い続けている

2020年の コロナ禍を超えて



皆様あけまし
ておめでとうご
ざいます。

セブ日本人会 理事 齊藤 淳

険制度ないし、対応は素晴らしいな、
と改めて思います。
ビジネス面でいえば、多くのこと
がオンライン化しました。

ほとんどの事業にとって、もはや
自分のビジネスを今までのようにオ
フラインで居続けるか、オンライン
に切り替えるか、という選択肢が
残っているのではなく、2021年
以降は「いつオンラインに切り替え
るか」という選択肢しか残っていな
いと思われます。

特にセブ島に住む皆様において
は、海外で暮らすことについて選択
を迫られ方も多かったと思われま
す。私自身も3月27日の時点で一旦
日本に帰国し、やっと昨年の9月に
セブ島に戻ってきました。
この記事を書いている今まさに、
再度日本に帰国しようとしています
が、新型コロナウイルスの変異がフィリピン
でも見つかつたもあり、また移動が
厳しくなるようであれば困るなど
思っているところです。
子どもがいる私にとって、セブで
今一番困っているのはやはり教育で
す。
セブ現地の学校（といってもキン
ダーガーデンですが）が再オープン
されないのであれば、やはり子供の
教育を考えて日本に戻るとい手
がいのかなとは思っていますし、そ
う考えて戻られた友人もかなり多
くいました。
こういう災難時になると日本の保

さて、セブ日本人会の理事として
の今後の活動ですが、現在はウェブ
サイトを担当しているため、ウェブ
サイトへのご意見ご要望などがあり
ましたら、ぜひ伺いできればと
思っております。
今年もどうぞ宜しくお願い申し上
げます。

コロナ時系列

日付	発表元	内容
1月21日	DOH	新型コロナウイルス フィリピンで初の患者確認
1月30日	DOH	2例目
1月30日	WHO	緊急事態と発表
1月30日	immigration、DOTr	中国から入国制限開始
2月1日	DOH	フィリピンで初の死亡者
2月2日	フィリピン航空 & セブパシフィック航空	中国本土、香港、マカオへのフライト禁止
2月5日	DOH	フィリピン3人目の症例
2月10日	immigration、DOTr	中国から入国禁止措置開始
2月26日	immigration、DOTr	韓国から入国制限開始
3月6日	DOH	ほぼ1ヶ月ぶりの患者確認
3月6日	DOH	6日から毎日陽性者が発生し、本格的な対策が始まる
3月12日	ドゥテルテ	ドゥテルテ大統領が会見をし、3月15日からマニラ首都圏の陸海空路を封鎖すると発表。約2日間のモトリアムをとり、その間マニラでは人の移動、外国人の本国帰国が始まる
3月13日	TESDA	16日の週から、語学学校は休み
3月14日	日本大使館	大統領会見後のメモランダムで、感染が発生している国からの入国制限が課されるとあり、情報は錯綜していたが、新しい発表はなく、実施されない模様
3月14日	セブ州	セブでの入国制限
3月14日	フィリピン航空 & セブパシフィック航空	マニラ・セブ便が欠航
3月15日	セブパシフィック航空	留学生の帰国ラッシュ始まる
3月15日	セブ州	セブ島で20日から外国人に対する入国制限開始
3月16日	セブ市	セブで夜間外出禁止開始
3月16日	ラプラプ市	同上
3月16日	マンダウエ市	同上
3月16日	パネロ大統領報道官	NCRを対象としていたコミュニティ隔離措置をルソン島全域に拡大
3月16日	官房長官	学校授業・活動の停止
3月17日	フィリピン航空	国際線も欠航が相次ぐ
3月17日	セブ市	お酒の禁止
3月17日	フィリピン政府	外国人のフィリピン出国は可能になる
3月18日	フィリピン政府	ECQの規制明確化
3月18日	DOH	セブ島1例目の患者
3月18日	セブ州	日本帰れない人出る
3月19日	セブ市	娯楽施設の営業中止を命令
3月19日		モール臨時休業開始
3月19日	DFA	3月22日から外国人の入国制限開始
3月21日	フィリピン政府	
3月23日	セブ州	セブ島でレストラン店内飲食禁止
3月25日	セブ州	セブでECQ実施のアナウンス
3月25日	日本外務省	フィリピンに対し、感染症危険情報の発出
3月26日	日本法務省	フィリピンを入国拒否対象地域に指定
3月26日	日本厚生労働省	3月28日以降の日本入国規制強化を発表
3月28日	セブ州	セブ島ECQ開始

日付	発表元	内容
4月2日	フィリピン政府	マスク着用義務化
4月7日	フィリピン政府	マニラ首都圏ECQ延長
4月15日	DOH	セブで患者数急増
4月17日	セブ市	バランガイLUZをトータルロックダウン
4月25日	セブ市	セブ市のECQを5月15日まで延長
5月1日	フィリピン政府	セブ市、マンダウエ市、ラプラプ市のECQ継続
5月16日	フィリピン政府	セブ市、マンダウエ市ECQ継続。ラプラプ市GCQへ緩和
6月1日	フィリピン政府	セブ市、マンダウエ市がECQからGCQへ緩和。GCQになったことでショッピングモール再開。GCQになったことでタクシー再開(6月5日ぐらいから)隔離措置がフィリピン全土で大幅に緩和される
6月2日	航空会社	国内線再開。セブーマニラ経由で日本帰国可能に
6月16日	フィリピン政府	セブ市GCQからECQへ戻る セブ市はショッピングモール閉鎖。タクシー運行停止 全国ニュースでセブ市の状況悪化が報道され始める
6月22日	フィリピン政府	ドゥテルテ大統領が会見で、セブ市の状況悪化について言及。環境大臣をセブに派遣することを発表 →翌日23日環境大臣がセブ入りし、ここから規制が一気に厳しくなる
6月23日	セブ市	セブ市は発行済み検疫パスを全て無効とし、新しいパスを配布予定と発表
6月23日	フィリピン政府	セブ市に警察官や軍の応援を派遣 監視・取締りを強化
6月25日	セブ市	セブ市内12のバランガイでトータルロックダウン実施
6月26日	セブ市	セブ市は新しいパスの概要発表、配布も開始 従来より厳しい措置となる
6月26日	セブ州	セブ市との境界を封鎖することを発表
6月26日	DOH	セブ市49のバランガイで集団感染と発表
7月1日	フィリピン政府	セブ市ECQ継続。マンダウエ市、ラプラプ市GCQへ緩和
7月2日	フィリピン航空	セブー成田再開予定
7月16日	フィリピン政府	セブ市はECQからMECQへ緩和。マンダウエ市、ラプラプ市はGCQ継続
7月25日	セブ州	MGCQ地域での観光アクティビティを再開
8月1日	フィリピン政府	セブ市はMECQからGCQへ緩和。マンダウエ市、ラプラプ市はGCQ継続
8月1日	フィリピン政府	移民ビザ保持者の入国を許可
8月15日	フィリピン政府	公共交通機関利用時にフェイスシールドの着用を義務化
8月16日	フィリピン政府	セブ市、マンダウエ市、ラプラプ市GCQ継続
9月1日	フィリピン政府	セブ島全域はGCQからMGCQへ緩和
9月29日	フィリピン政府	リタイアメントビザ保持者の観光目的以外での入国許可を発表
10月1日	フィリピン政府	セブ島全域はMGCQを10月31日まで継続
11月1日	フィリピン政府	セブ島全域はMGCQを11月30日まで継続
11月16日	セブ市	セブ市は他市からのレジャー目的や許可のない人の入市を制限
11月16日	ラプラプ市	ラプラプ市住民以外の観光(ホテル、観光アクティビティ)の受け入れを停止。後に12月から再開
12月1日	フィリピン政府	セブ島全域はMGCQを12月31日まで継続
12月28日	フィリピン政府	セブ島全域はMGCQを2021年1月31日まで継続
12月29日	フィリピン政府	12月30日～2021年1月15日まで、日本を含む20か国からの外国人の入国禁止を発表
12月30日	マクタン空港	12月30日以降、全ての入国者はPCR検査陰性であっても、政府の隔離施設にて14日間の隔離を行うことを発表

セブ日本人会 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございませう。

昨年今頃は

…という話をしても今は変わらぬものですが、そのような表現をしたくなるほど大きく社会や生活が変わった一年でした。1年前には当たり前だった、セブでの新年のご挨拶がこんなにも難しくなるとは、全く想像していませんでした。

昨年1月末ごろ、少し用事があるために戻っていた日本滞在中に新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し、セブには戻れない状況となりました。その後仕事に支障が出ないというところで最終的には実家のある四国に落ち着き、半年以上が経過しようとしています。セブと日本とを行ったり来たりという移動ばかりの生活が大きく変わってしまいました。

移動をしなくなり、ひとつの拠点にて滞在を続けることで気づくことが多々あります。意外とじっとしている生活もできると思ったり、これまでの移動にたくさん無駄があったと気づいたりしたことは事実です。しかしそれ以上に、移動が日々の生活において重要な要素であったということも改めて感じさせられます。そこには、移動した先で誰かと会ったり、集まったりという時間も含まれていました。そしてセブは多

セブ日本人会 推薦理事 七條 智紀

くの人の移動の目的地となり、人々が会い集まる場だったのだと痛感します。

まだまだ新型コロナウイルスの終息には時間がかかるのかもしれない。

しかし、いずれ訪れる移動と再会に向けて、今は準備をする時間だとも考えられそうです。必ず来るその時、皆様との再会を喜べるよう、日々精進してまいります。

2021年が皆様にとって素晴らしい年となることを心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお祈り致します。

PTN TRAVEL CORP
女子旅
CEBU 最高!!

電話: (+63)32-340-7910
携帯: 0917-321-6349 (日本語可)
場所: Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu City,

PTNトラベル 検索
@zpq3556y info@ptn.com.ph

エメラルドグリーンダイビングセンター
Emerald Green Diving Center

☆☆ ジンベエツアー開催 ☆☆

日本人インストラクターが5人常駐!!ダイビングが初めての方やお一人で参加される方にも安心。少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適なダイビングを約束♪またセブ島の南サンタナダ、モアルポアル、ボホールにも支店(もちろん日本人インストラクター常駐)がありますので、マクタン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこちらも潜ってみてはいかがでしょうか?

電話: (032) 495-7728 or 495-8372
携帯: 0917-321-6349 (日本語可)
場所: Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu City,

セブ島通信を見て事前にダイビングをご予約された方オリジナルTシャツ贈呈&ランチ無料!
プロモ期限: 当セブ島通信発行年月より1年間

広告掲載募集

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。

★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

便利な IDカード

セブ日本人会では、協賛店／協賛ホテルでお得な特典を受けることができる ID カードを発行しております。緊急時の連絡先や簡単な身分証明としてもご使用いただけます。
会員の 18 歳以上の配偶者・ご子息に限り有料で発行いたします。

未だ ID カードの手続きをされていない会員の方もこの機会に取得されることをお勧めします。ID カードの更新、新規は無料です。紛失などで再発行の場合は実費費用負担をお願いしています。負担額は 200 ペソです。

セブの美味しい地鶏を食べに来ませんか?
Q-Bay Japanese Restaurant

Q-Bayは、オープンエアが気持ちいい気軽に立ち寄れる居酒屋です。一日の疲れを癒しに来ませんか。
焼き鳥は100年続く秘伝のタレと、塩からお選び下さい。長時間コトコト煮込んだこだわりのラーメンもどうぞ。
ランチメニューは ラーメン、丼など 全品200ペソ以下でご利用いただけます。

☎ 032-401-0402 ✉ qbayresto@gmail.com 📱 Q-Bay restaurant

Sevnsprit 4 Ground Floor IT Park, Lapu-Lapu, Cebu City
月～金: 12:00～14:00 日～木: 17:00～25:00 / 金・土: 17:00～27:00

三河屋
日本食材あります

JAPANESE GROCERY CONVENIENCE STORE

三河屋 MIKAWAYA
@mikawayacebu

食材 日用雑貨
文房具 飲料

配達も承ります。

住所(マボロ) : TAA Center Door 10, F. Cabahug St., Kasambagan
電話番号 : +63 32 266 7954

セブ日本人会 協賛店／協賛ホテル一覧

食材店

町屋マート
三河屋

ホテル・ビーチリゾート

Movenpick Hotel Mactan Island Cebu
Shangri-La's Mactan Resort and Spa Cebu
Marco Polo Plaza Cebu Hotel
Waterfront Cebu City Hotel
Waterfront Airport Hotel
Waterfront Insular Hotel Davao
Jpark Island Resort & Waterpark Cebu
Maribago Bluewater
Blue water SUMILON ISLAND
Blue water PANGLAO BEACH
Lubi Resort Santander
Anemone Resort and Tours Cebu
Kandaya Resort Hotel

ダイビング・マリンスポーツ

アクアマリンオーシャンツアーズ (マリンアクティビティ)
ブダンディン・マリン・ダイバー
アクアパティス
エメラルドグリーン・ダイビングセンター
—マクタン店
—サンタンダー店
—モアルポアル店
—ボホール店

飲食店

【マンドウエ市】

オイスターベイ (シーフード)
スキレット (和洋食)
HAPPY SUMO (和食)
Tao Yuan (中華料理)
松之屋 (和食)

【マクタン島】

Oishi Cebu Japanese Restaurant / 旧だるま (和食)
空海 (和食)
夜桜 (和食)
マリバゴグリル (フィリピン料理)

【セブ市】

はる / 旧さっちゃん (お好み焼き)
—タランバン店
悟空 (和食) マボロ店
ミッキーズ (ケーキ)
Q兵衛 (和食)
TYMAD BISTRO (フランス料理)
夢屋喜兵衛 (和食)
AMPERSAND (西洋料理)
寿や (ラーメン)
秋田 / AKITA (和食)
Mio Cafe and Restaurant (フィリピン料理)
韓陽苑 (焼肉レストラン)
幸 全店 (日本食レストラン)
麻布 (日本食レストラン)
Circa 1900 (洋食)

一路発 (ラーメン)

但馬屋 (焼肉)
Jazz'n Bluz Bar & Restaurant

美容・健康

ワウ・セブ歯科医院 (歯医者)
スマイルデンタル (歯医者)
Japanese Tea Lounge (マッサージ)
AVALON SPA (マッサージ) マンドウエ市
ProDent Advanced Oral Health (歯医者) : セブ市)

レジャー・スポーツ

セブトップ (遊覧飛行、体験飛行)

その他

Character Studio (オリジナルグッズ)
誰でもヒーロー (ボランティア)
NPO セブンスピリット / Sevnsprit (ボランティア)
ジャパン支援センター (退職者ビザサポート)
QQ English (英会話学校)
DT Cebu (翻訳・年金申請業務)
Sky Water Park (プール & レストラン)
Wabi Linkage Corporation (翻訳業務)

旅する

フレンドシップツアーズ
KSB トラベル
AS レンタカー

割引き、もしくは特別サービス御座います。必ず会員証をご持参ください

広告募集中です。セブ島通信の発行費は広告料金でまかなっています。ぜひご協力ください。

【広告料金】 ① 3分の1 2段 800 ペソ
② 2分の1 2段 1,200 ペソ
③ 3分の2 2段 1,600 ペソ
④ 全幅 2段 2,400 ペソ

【お願い】 ① 最低 6 ヶ月は継続してください。
② この 3 号分は同一原稿です。
③ お支払は前払原則です。
④ 完成した原稿をお持ちください。

【お申込みは】
セブ日本人会事務局
電話 : 032-343-8066
FAX : 032-343-7663

サイ | ト | ウ | の | ガ | ゼ | ャ | ッ | シ | ュ | 通 | 信

Vol.5



話題の仮想通貨をセブ島でも購入する方法

齊藤 淳

の取引所です。フィリピンではここが一番の大手のようですね。

このCoins.phですが、実はアプリを使うと誰でも(外国人の日本人でも)簡単に口座開設ができます。

やり方についてはそこまで難しくないので割愛しますが(アプリをダウンロードして手順に沿えばOK)、このアプリは使いやすく結構便利です。

具体的にはビットコインをペソ建てで購入することができますし、ビットコインからイーサリアム、リップル、ビットコインキャッシュも購入(交換)することができます。

また、携帯のロードを購入できたり、公共料金なども支払えます。このあたりはフィリピンっぽいですね。

注意点としては、LEVELによって入金、出金の上限があることです。パスポートだけでも多少取引はできますが、50万円以上の単位で動かそうとすると、自分のフィリピンでの住所記載、自分のお金の源の証明、後はスカイプでの面接なんかもあります。

私もやってみました。かなりめんどくさいです。そして興味本位でやっただけですので諦めました(税金関係もややこしくなりそうだからね)。

最後に念の為に書いておきますが、この記事では仮想通貨を推奨しているわけでも、フィリピンでビットコインの購入を推奨しているわけでもありません。あくまでアプリがどういものかを解説しているにすぎません。ビットコインは今買っても明日には1/2以下になっている可能性があります。至極当たり前のことですが、投資は自己責任でお願いします。

私が記事を書いている今現在、ビットコインは370万円前後、数日前は400万円前後だったのちよつとは落ちたもののキープしている状況です。例えば2017年末付近に200万円台を突破して仮想通貨全盛期が訪れたと思ったら、新型コロナによる世界各国のお金のバラマキで2017年末の倍である400万円まで突破すると誰が予想できたでしょうか。

高値でビットコインを買って地獄を見た人も、ここまでホールドしてれば3年で約2倍になっていたわけですね。

さて、セブ島に既に住んでいる方は日本の住民票を抜いている方も多々あります。通常、ビットコインを購入するには日本国内で書類を提出して、仮想通貨の取引所に口座を開かなければいけないのですが、セブ島に住んでいるとそんなことはできません。でも、そういう方でもビットコインは購入することができます。



私のGOMOONな近所

水野

夫と結婚した後に住み始めた家にはトイレがなかった。かれこれ二十年前の話であるが当時の家賃は1500ペソ。下半分がブロッグ、上半分がアマカンと呼ばれる竹を編んだもので作られていて、屋根との間にはスペースがあり、普通に野良猫が出入りしているような家だった。外に隣に住む大家と共有のトイレと水浴び場があった。確かに夜中にトイレに行きたくなってもめんどくさいなと思ったが、生まれた時から家に水洗いトイレがあった私は、他の対処法も思い浮かばなかったし、だからといってトイレに行かないという選択肢もなく、ちよつとビクビクしながら行っていた。

それからすぐに自宅を建て移り住んだ。トイレがない家に住んだ経験上、必ず家の中にトイレは作れと夫に強く要望した。当時、存命だった夫の祖母は毎朝、我が家のトイレを借りにきていたので、夫が結婚前に住んでいたいわば実家にもトイレがないことは承知していたが、ではみんながどういう風に用を足していたのかまで深くは考えていなかった。

外先で、夫はお腹が痛くなるのとそのへんの草むらに消えて行った。改めてえらい人と一緒に住んでしまったとショックを受けたのをよく覚えていた。

数年前のことだが、日本で働いているフィリピン人同士が寮でケンカをした際に、そのへんに貯めてあった排泄物の入ったバケツを相手にぶちまけた、という話を聞いた。なぜ排泄物の中に存在するのだろうか、と事情がすぐには飲み込めなかったのだが、フィリピンでは割と当たり前のようにトイレというものが普及しているところ、初めて知った。

そういう、昔、市場の金物屋で色とりどりの蓋付きのプラスチック製の入れ物がたくさん売っていて、冷や飯を入れておくのにちょうどいい、と買ってきた使っていたが、夫が微妙な反応を示し、これはおまるだと言ったことを思い出した。その時は私、おまるとは小さな子供が使うものと思いついて、まあ、別に使用済みなものを使っているわけでもないし、とそのまましばらく冷や飯を入れるのに使っていたが、もしかしたらあれはトイレのない家に住んでいる大人も使うものだったのか、とようやく腑に落ちたのだ。

ある日のこと。毎月、電気代と一緒に支払いに行ってもらっている叔母さんが、電気会社の請求書を持って我が家を訪れた。中に入るよう促したが、外で待つというので、お金を用意して表に出ると、叔母さんは我が家の前でしゃがんで用を足していた。この叔母さんは工業団地の日系企業で長年働いている一族の中ではかなり常識が通じると思っていた人だ。私が唖然とし、言葉を失ってしまった。「我慢できなかったから。」と笑っていたので、トイレなら貸しますが?と真顔で返そうと思ったがやめておいた。

そしてこの時、長年の謎も解けた。それは姑の部屋にある小さな入れ物のことだった。業務用の酢などが入っていたと思われる入れ物の取っ手の部分を切り取った小さなバケツみたいなものが、以前から姑の部屋にはあった。そういえば時には何か液体が入っていたこともあった。これは何なのだろう?何のためにここに置いているの?と、姑の部屋を掃除するたびに不思議に思っていた。そして、あれは...そうなのか?と、今更ながら愕然としたのだ。

ある日のこと。毎月、電気代と一緒に支払いに行ってもらっている叔母さんが、電気会社の請求書を持って我が家を訪れた。中に入るよう促したが、外で待つというので、お金を用意して表に出ると、叔母さんは我が家の前でしゃがんで用を足していた。この叔母さんは工業団地の日系企業で長年働いている一族の中ではかなり常識が通じると思っていた人だ。私が唖然とし、言葉を失ってしまった。「我慢できなかったから。」と笑っていたので、トイレなら貸しますが?と真顔で返そうと思ったがやめておいた。

ついで先日のある雨の日の夜、テラスで飼っている番犬の餌を与えようと思いつくと、テラスの前で姑がしゃがんで座っていた。驚いて、「何をしているの?」と聞けば、用を足しているの?と平然と言いつつ、雨が降っているのにわざわざ外でしなくてもよくないか? そんなに広い家でもないのにトイレまで数歩の距離だ。おまるすら使わず垂れ流し。

言いたいことはたくさんあったが、ぐつとこらえた。だつてケンカになつておまるの排泄物をぶち撒けられても困る。今更にも姑は怒らせないよう細心の注意が必要である。

言いたいことはたくさんあったが、ぐつとこらえた。だつてケンカになつておまるの排泄物をぶち撒けられても困る。今更にも姑は怒らせないよう細心の注意が必要である。

言いたいことはたくさんあったが、ぐつとこらえた。だつてケンカになつておまるの排泄物をぶち撒けられても困る。今更にも姑は怒らせないよう細心の注意が必要である。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社(セブトリップ、咲楽、セブポット様)のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでます。この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会 会長 松田和人



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。